

公益財団法人 星総合病院 第34回海外研修



フランス

la France



[平成 30 年 12 月 3 日～8 日 / 21 名参加]

* 研修内容 *

フランスの医療制度と救急システム (SAMU)



フランスの医療は「かかりつけ医」制度を基盤に診療・薬・検査そして手術などの高度医療の機能が徹底的に分業化されており、費用の抑制や各専門性の向上につながっている。

救急システムとして、緊急医療援助体制「SAMU」にて医師が 24 時間体制で救急電話対応を行っている。最短で緊急性を判断することにより、無駄な救急車の使用を抑えられ、パリ市内全域を約 15 台の救急車で対応ができています。

ビセートル病院と病院歴史博物館 見学



ビセートル病院にてジャックセルジャン教授の説明のもと、精神患者の人権が認められるまでの医療発展の経過を学んだ。

先人が用いた医療器具や医療美術品、通常では公開されないことがない歴史的資料を特別に見せてもらうことができた。

高齢者施設 NursingHome ABCD 見学・子育て支援について

「家庭のまま」「開放と自由」「誰でも受け入れる」をコンセプトにした公的高齢者施設。入居者の意思と自己管理を大切にしており、託児所やレストラン、シアター、美容室なども入っている。

人事担当者より、フランスにおける育児支援制度の説明を受けた。日本と異なり、有給休暇や育児時間の取得など労働者としての権利はしっかり行使できる風潮がある。



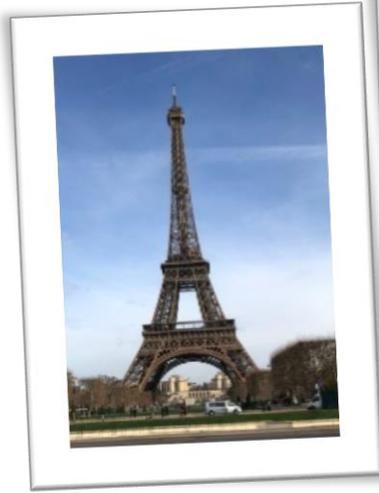
総合診療科・かかりつけ医制度について～パリ大学医学部にて～

「かかりつけ医」の普及と総合診療医の教育に大きな影響をもたらしたセルジュ・ジルベルグ教授による講義を受けた。フランスでは研修医は早い段階で診療科を決定し、原則、他科での研修は行わずに専門性を磨くという効率・合理的なシステムとなっている。研修時から給与がもらえるなど、日本の研修制度とは大きく異なっている。

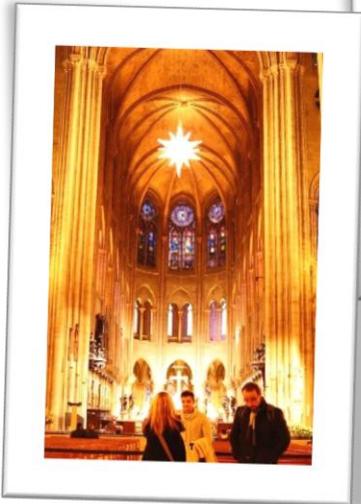


* フランスの思い出 *

* 名所 *



* 美術館 *



* 料理 *

